

宝曆七年 乍恐以書付を奉願上候 (越辺川水損二付普請願) (林家文書四四四二)

乍恐以書付を奉願上候

一 赤尾村之儀、越辺川都幾川ヲまき罷在候二付、
数年水損仕、別而近年者、堤通大破同前罷成
難儀仕候上、当夏中茂、数度之出水ニ而、当麦作
秋作一切手掛ケ不申候而、惣百姓共困窮仕候、
依之、乍恐奉願上候者、右堤通御見分之上
崩落候場所者不及申上、はらがけ上置共尔 (に)
御普請被成下候ハ、村中相助末々難有奉
存候、此度川嶋堤通御普請御座候得者、猶又、
当村堤危罷成申候二付、偏ニ奉願上候、乍恐
以御慈悲御救御普請被為仰付被下置候ハ、
難有奉存候、以上

武州入間郡川越

秋元但馬守領分

宝曆七年丑八月

赤尾村

- 百姓代 政右衛門
- 同 甚右衛門
- 同 新蔵
- 組頭 八左衛門
- 同 甚六
- 同 八郎右衛門
- 同 勘太夫
- 名主 平蔵
- 同 半三郎

御見分

御役人様